

パラジウムが20%、その他としてインジウム、イリジウムなどが含まれることがあります。つまり、多くはパラジウムなのです。このパラジウムの産出国は少なく、その一つがロシアなのです。

ちょっとした裏話ですが、パラジウムの値段がロシアの関係で安定せず、数年前から高騰し、保険点数も上がってしまいました。同じ金属冠を入れても数年前より今の方が高いのです。そんなこともあり、保険診療の



銀歯離れも始まっており、先月号で紹介した白い歯もその1つです。

次回の保険ルールが来月改正され、そこでも銀歯離れが加速しそうです。

ただ、個人的には大歓迎です。金属はアレルギーなどの影響もあります。金属並みの強度を持った材質も出てきました（例えばジルコニア）。もっと安価に使用できるようになればいいですね。

### 美味しさを決めるもの

先日、ある文献を読んでいると、北大路魯山人の言葉で以下のようなものが掲載されていました。「もともと食べ物、舌の上の味わいばかりで美味しいとしているのではない。シ

ヤキシヤキして美味しいもの、グミグミしていることが佳い



もの、シコシコして美味しいもの、（中略）以上のように食べ物の美味しさ不味さの大部分を触覚が支配している。」

これは歯医者としても衝撃でした。そこか！という感じでした。入れ歯を入れたらものが美味しくないとと言われることがよくあります。舌はあるし、味覚が変わるわけではないので、異物が入ることが不快なのだろうと思っていました。しかし、触覚ということと本当に合点がきました。実際、触覚の方が味覚よりも刺激が早く脳に伝達されることがわかっています。

触覚は歯の根の周りにある組織で感じるもので、歯を抜いてしまうと感じにくくなります（代償があるのでゼロではありません）。改めて歯の大切さを感じているところです。